

Wish



ユニセフ兵庫ニュース

「子どもの参加が
未来をつくる」



©Ivan Blazev/Right to Know Initiative/United Nations,2002

(財)日本ユニセフ協会
兵庫県支部

〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F
TEL.078-435-1605 FAX.078-451-9830

西宮市立上ヶ原中学生

「トライやる・ウィーク」でユニセフ体験学習

2003年5月12日(月)~16日(金)の1週間、西宮市立上ヶ原中学校2年生の田丸直人さん、渡辺侑弥さんが、「トライやる・ウィーク」で兵庫県支部を訪れました。1週間という限られた日程の中、オリエンテーション・挨拶まわりに始まり、ボランティア学習会・報告会への参加、募金集計、ライブラリ・資料の分類・

整理、カード・グッズ関連の作業、教材づくり等々、事務局の活動全般をひととおり体験していただきました。全体を通して、ユニセフの活動範囲の広さや、また、全く関係ないように見える一つ一つのこと全てに意味がありユニセフ・世界の子どもたちにつながっていることを実感されたことでしょう。

ラオス・スタディツアー報告会では、報告の内容が支援に関わることで少し難しかったようですが、グループごとのまとめでは、2人共、グループの代表として発表し、「世界には色々な状況の人たちがいることがわかった」と、しっかり感想を述べていただきました。

短期間に日替わりで、色々なスタッフと出会い、話が出来、2人と同様にスタッフ一同にとっても有意義な1週間でした。実際現地で使われている「水がめ」、「働く子どもたちのための学習教材」といった「現物」に触れた時の2人の表情が心に残ります。

中学生という年代の子どもたちが「トライやる」の対象として、ユニセフ、ボランティア活動に目を向けてくれていることに感謝し、この芽が大きく育ってくださることをスタッフ一同願っています。また、たくさんの芽を育てるためにも、年齢にあった体験プログラムづくりについては、今後の課題として取り組んでいきたいと思ひます。



田丸直人さん
先日のトライやる・ウィークでは多く
のこを学ぶことが出来ました。おかげ
さまで学校の学習に役立てることができ
そうです。その中でも子どもたちの労働者数
などはとても興味があるので調べてみた
いと思ひました。また、ボランティアで事
務所に行かせていただきます。そのときは、
よろしくお願ひいたします。これからの
皆様のご発展をお祈りいたします。



渡辺侑弥さん
今回はたいへんお世話になりました。看板
作りやラオスの報告会なども楽しく色々
なことが学べていい経験になりました。みな
さんが明るく接してくださってとてもやり
やすかったです。ボランティアというこも
あってみんな活発で、僕たちもがんばろうと
いう気持ちになりました。将来の夢はサッカー
選手に変わりたいけど、苦しんでいる人た
ちを楽しみを教えたいと思ひます。(後略)

緊急募金のお願い

アフリカ緊急募金

郵便口座：00190-5-31000
財団法人日本ユニセフ協会
通信欄に「アフリカ K1-280兵庫」と明記

イラク緊急募金

郵便口座：00110-5-79500
財団法人日本ユニセフ協会
通信欄に「イラク K1-280兵庫」と明記

アフガン 復興支援募金

郵便口座：00190-5-31000
財団法人日本ユニセフ協会
通信欄に「アフガン K1-280兵庫」と明記

ご寄付は郵便局指定の振込用紙をご利用の上、上記口座までお振込みください。
送金手数料は免除されます。
当協会への寄付金は、所得税、法人税、相続税の控除対象となります。

ユニセフ夏のカード&ギフト



はがき
カード・グッズについては、結婚式案内状・記念品として購入される方や、色々な活用方法があります。販売日以外でも、購入をご希望の方は、お気軽に事務局までご連絡ください。

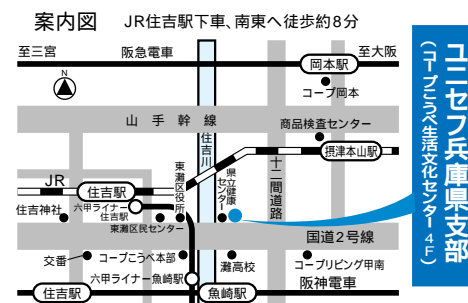
毎月7日はカード・グッズの販売日です！ コープこうべ生活文化センター1階ロビー

あとがき

駅前の子どもたちの平和な笑顔が、かけがえのないもののように心に響く今日このごろです。「ターミネーター3」が公開されます。世界の未来が「ターミネーター1」でサラがみたものとは違っ、明るい平和な子どもたちの笑顔に満ちたものでありますように。(K)

Wish Vol.5号(2003年夏) ユニセフ兵庫ニュース

2003年(平成15年)7月発行(季刊)
発行:(財)日本ユニセフ協会 兵庫県支部
〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F
TEL 078-435-1605 FAX 078-451-9830
(平日の10時~16時)



本紙は再生紙を使用しています。

学習会あ・ら・かると

日時 5月15日(木)10:30~12:30
対象 神戸市立桜の宮中学校 1年生

兵庫県支部1周年のついでにも参加いただいた桜の宮中学校を訪問。1年生全員(クラス別実施)が対象。スライドをつかったの現地報告や戦争とユニセフの関わりについての話、ビデオ「子どもと武力戦争」上映などを実施。平和の大切さを素直に実感してくれた子どもたちの表情が印象的。

日時 5月31日(土)13:00~15:00
対象 ユニセフパークプロジェクト ボランティア

8月開催予定のユニセフパークプロジェクト2003「子ども国際ワ-クショップ」(主催:国土交通省国営明石海峡公園事務所)で、子どもたちを指導するボランティアスタッフを対象とした、ユニセフについての学習会。参加者全員が20~30代の若者ばかり28名ということもあり、活気あふれるものとなった。



これまでに開催した学習会

訪問日	訪問先	対象	人数
4月24日	大河内町立長谷小学校	小学3~6年	35
5月15日	神戸市立桜ノ宮中学校	中学1年生	90
5月31日	ユニセフパークプロジェクト	ボランティア	28

ユニセフ学校キャラバン 5/27~28

(財)日本ユニセフ協会が行なっているもので、国際児童年の1979年から毎年春と秋の2回、全国の府県や学校を訪れ、栄養不良や病気に苦しむ世界の子どもの現状を訴えるもので兵庫県への訪問は4回目になる。

初日の午前中は県知事と教育長を訪れ、メッセージの交換。午後は教員を対象にユニセフ活動を実際に進めていくための学習会を実施。また翌日には神戸市立霞ヶ丘小学校や県立明石西高等学校でそれぞれ学習会を開催した。兵庫県支部からもボランティアが参加し、学習会講師として活動する上で有意義な時間になった。



知事とのメッセージ交換



教職員対象のセミナーの様子



県立明石西高等学校での学習風景



神戸市立霞ヶ丘小学校での学習風景(小学4年生~6年生)

報告会に参加しました

ラオス・スタディツアー - 報告会 5/13

2003年の2月に行なわれたユニセフスタディツアーの報告会に参加。最初に、90年にはじまったラオス指定募金が、2002年度には募金額が

2,000万円を越えた報告があった。

その後ツアー参加者から国や人々の様子、ユニセフのプロジェクトの内容等、各項目に分けて説明があった。支援の段階により違いが明確にわかる一方、豊かさや必ずしも幸せにつながるかは限らないのでは、先進国のデメリットも伝えていく必要があるのでは、という意見もあった。全体報告の後、グループ毎に交流を行なった。

アフガニスタン現地スタッフ報告会 6/4

2003年6月4日、アフガニスタン現地スタッフ報告会(大阪)に参加。ユニセフ・ワンドゥス事務所/教育担当官・籠嶋真理子氏による、現地からの生の声を聴くことができた。報告のテーマは「紛争後のアフガニスタンの教育の現状とユニセフの取り組み」。

タリバン政権下で男の子のふりをして通学し、現在は女学校に通ってパイロットをめざす、ザハラちゃんのストーリーを軸に進められた。カブ-ルと地方都市の地域差、ハード面以上にソフト面(教員の不足など)に遅れがあること等々、エピソードも交えながらの生の報告・実態を伺いながら、マスコミ報道に左右されない地道な支援活動の大切さを改めて認識した。「1979年の旧ソ連侵攻以来、紛争の絶えない中で国土を蹂躪され、世界から忘れられたこの国の人たちが、ようやく自分たちの手で何とか立ち直ろうと歩み始めた今、もう一度見捨てることはしないでほしい」という籠嶋氏の声が残る。

「ユニセフ夏の教室」

8月28日(木)13:00~15:00
コープこうべ生活文化センター第3会議室

「水とわたし」をテーマに、「もし安全な水がなかったら...」。ゲームや水運びなどの体験学習を通じ、世界の途上国の人々の様子や国際支援について、いっしょに学んでみませんか。だれもが参加できる内容です。

小学校高学年以上ならどなたでも参加できます。
定員50名
無料



アンゴラ

©UNICEF
多くの国では、水汲み場が1~2時間も先の場所にある大変です。

予告

10月5日(日) 映画「with...若き女性美術作家の生涯」上映会
12月23日(祝) ハンド・イン・ハンド

写真展「生きる生きる」

8月11日(月)~8月30日(土)
コープこうべ生活文化センター1Fロビーにて
4人のカメラマンが見つめた
世界の子どもたち

子どもたちを撮り続ける

田沼武能氏

1985年 菊池寛賞受賞
日本写真家協会会長

カンボジアの地雷や世界の難民キャンプ取材

小林正典氏

1994年 国連写真家賞受賞

アフガン・ニカラグアなどで長く取材を続ける

長倉洋海氏

1993年 土門拳賞受賞

若手女性カメラマン

谷本美加氏

1998年 国境なき医師団フォトジャーナリスト賞受賞

大きくゆれる世界。未就学、食糧不足、貧困、地雷の危険など、困難な状況の中で懸命に生きる子どもたちの姿を、さまざまな国、地域で取材したカメラマンたちの写真を紹介。ぜひご覧ください。

イラク緊急募金 5/10

イラク緊急募金への取組みとして、5月10日(土)JR住吉駅で街頭募金を実施しました。募金してくれた子どもたち、おとなの皆さんの笑顔が心に残ります。26,679円が集まり、支部を通して本部に送金させていただきました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



視聴覚教材の貸し出しについて

学校や家庭で見ただけのビデオの貸し出しをしています。世界の子どもたちのこと、ユニセフの活動についてなど、ご希望の方は兵庫県支部までお問い合わせください。送料(往復)はご負担ください。

いっしょに学習しませんか

まずは、現状を知ることから始めてみませんか。小さなグループでも結構です。出前講座いたします。気軽にお声かけください。講師の交通費(実費)のみご負担ください。